



ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区

Governor Today

ガバナートゥデイ

ガバナーズローガン **変革を巻き起こせ！**

Message



ご挨拶

2023～2024年度 332-C 地区ガバナー

L. 渡邊 俊弥 (仙台五城LC)

仙台の桜の開花もうすぐとなり、春の足音が近づいて来ました。

私のガバナーとしての任期も残すところ後3か月余りとなりましたが、構成員の皆様には日々、大変ご協力をいただき感謝申し上げます。

東日本大震災から13年がたち、日々の震災に対する関心が風化してきたように思えます。

また、今年の初めに発生した能登半島地震はなかなか復興が進まず、被災された方々のご苦勞は、わが身のように感じられます。我々が受けたあの時の支援を、今まさに被災者の方々に未永く支援し続けることで恩返しができると考えております。

今年度、私は地区スローガンとして「**変革を巻き起こせ！**」地区アクティビティスローガンとして「**出来る理由を探そう！ 332-Cはワンチーム**」をかかげクラブの置かれている現状を正確に把握し会員減少を防ぐ具体的な行動を実戦し、新会員を増やし、クラブを若返らせる事、次代を担うライオンの育成、食糧支援、ライオンズ活動の地域社会へのアピールの強化、などの活動を展開してまいりました。

第3回キャビネット会議の後、2月3日には岡山で開催された全国アラートフォーラムに7名のメンバーと共に、能登の復興状況報告や今後の支援のためのセミナーへ参加をしてまいりました。

さらに、2月15日には国際理事のL 濱野雅司を講師として、公認ガイディングライオン養成講座を開催し、多くの優秀なガイディングライオンが誕生となりました。2月29日～3月2日には、仙台市地域子育て支援クラブ連絡協議会と共に、衣類の「おゆずり会」を開催し多くの皆さんに衣服を提供することができました。又、眼鏡リサイクルセンター運営委員会ではカンボジアへ30,000個の中古眼鏡を送り、在仙カンボジア領事より感謝状をいただきました。そして多くの中古眼鏡を提供いただいた東京町田LCへは感謝状を持参し、今後の協力を約束していただきました。さらにFWT委員会ではレモネードの販売で得た資金をこども病院へ寄付し、感謝状をいただいております。

今年度目標としている、会員増強80名という数字は、まだ4分の1の成果しか出ておりません。2月末の会員数は1,536名で、今年度の純増数21名であります。これからの皆様のご支援をお願いいたします。

4月27日開催の第70回地区年次大会について、今年度は世界入会デーも同時に開催し、新入会員を励まそうと予定しております。新入会員の皆さんとスポンサーの方々は勿論、多くの会員の皆様の参加のもとに新入会員の皆さんにライオンズクラブの良さを感じていただければと思います。

残り3か月、会員の皆様の変わらぬご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



ライオンズクラブ国際協会332-C地区

第70回 地区年次大会

2023～2024年度地区ガバナー L.渡邊 俊弥（仙台五城LC）

ガバナースローガン

「変革を巻き起こせ！」

アクティビティスローガン

「出来る^{わけ}理由を探そう！332-Cはワンチーム」

2024年4月27日（土）

会場：仙台国際センター



〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

◆ 仙台市地下鉄東西線「国際センター駅」すぐ ◆ JR仙台駅からタクシー約7分

◆ 東北自動車道 仙台宮城ICから車で約10分

ライオンズクラブ国際協会332-C地区 2023年-2024年度地区運営方針

ガバナースローガン

変革を巻き起こせ！

アクティビティスローガン

出来る理由を探そう！332-Cはワンチーム

1. 変革とは！

※発展のために変わらなければならない

2. 「私たちは奉仕する」(We Serve)

A) 会員増強のために

①クラブの置かれている現状の把握（SWOT分析）

②会員減少を防ぐ具体的な行動計画の作成と実践

B) 新会員を増やし、クラブを若返らせる

C) あらたな奉仕活動でクラブを活性化させる

D) 次代を担うライオンの育成

E) ライオンズ活動の地域社会へのアピールを充実させる

この変革はあなたから、クラブから、ここから、いま！

3. 奉仕事業

2023-24年度末までに、地区内のクラブによる奉仕報告率を上げる

※332-C地区の85%のクラブが確実に奉仕を報告する

※各クラブで新しいアクティビティを1つ、各ゾーンで1つ奉仕事業をする

4. 会員増強

2023-24年度末までに、地区の会員数純増を達成する
※332-C地区は最低でも1の新クラブを結成し、20人のチャーターメンバーを加える。

※地区内のクラブは、既存のクラブに80人の新会員を入会させます。

※当地区は、退会者数が80人を上回らないようにする

5. GLT指導力育成

2023-24年度の第1四半期が終了するまでに、クラブ役員とZCを対象とした研修をする。GLTコーディネーターは、LEARN研修管理機能を使って全ての研修を報告する

※332-C地区は100%のZCが確実にZC研修に参加するようにする

※当地区は100%のクラブ役員（会長・幹事・会計）が確実にクラブ役員研修に参加する

※当地区は、退会者数が80人を上回らないようにする

6. LCIF

2023-24年度末までに、ライオンズクラブ国際財団（LCIF）を支援する

※私たちのチームは、地区内の個人参加率を50%、クラブ参加率を10%増やす。

※当地区の30クラブが確実に100%会員参加達成するようにする

※当地区は、シルバーレベルのLCIF理事長メダル獲得を目指します

※私たちのチームは、地区内の会員全員に50\$寄付を呼び掛ける

7. サーバントリーダーシップ (奉仕するリーダーシップ)

※地位にかかわらず、組織への奉仕を目指す

※チームのメンバーと協力する

※メンバーの手柄にする

※改善策を探す

※信頼、機会、感化を利用し、信頼関係を築き、メンバーの自主性を尊重する

※耳を傾け、口数は少ない

※チームの成功によって意欲を高める

※全員のために機会を調整し、個人のやる気を重視して、組織の成長と調和させる

※コーチング、メンタリングから部下と共に学ぶ

※責任を明確にし、失敗から学ぶ環境を作る



332-C 地区関連 4 月度予定表

日 程	行 事
4/2 (火)	LCIF チャリティゴルフコンペ
4/6 (土)	ノンライオン交流会
4/21 (日)	3バンク・薬物乱用防止 春の合同セミナー
4/23 (火)	ZC 研修会
4/27 (土)	第70回地区年次大会

アクティビティレポートは
アクティビティ通信として毎月
15日にPDF 発信致します。

3バンク・献血推進・糖尿病対策支援委員会（岩本政郁 委員長）

白血病治療に不可欠な骨髄移植・末梢血幹細胞移植を拡充するためには、提供者（ドナー）登録数を増やす必要があります。現在ドナー登録者数は全国で約55万人程となっておりますが、提供の実現には様々な課題があります。ライオンズでは課題解決に取り組んでおります。

臓器移植普及・献血推進・糖尿病対策フォーラム

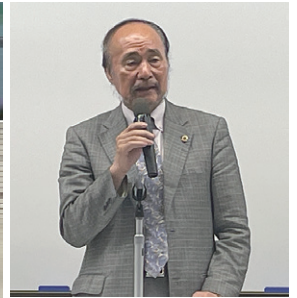
令和5年7月16日（日）～17日（月）に東北福祉大学東口キャンパスにおいて、ライオンズクラブ国際協会332-C地区「臓器移植普及・献血推進・糖尿病対策フォーラム」が開催されました。3バンク・献血推進・糖尿病対策委員会（岩本政郁委員長（仙台青葉LC））が中心となり、素晴らしいフォーラムとなりました。初日は第一部として3バンク・献血推進をテーマに、そして2日目は第二部として糖尿病対策をテーマに専門家の先生をお招きし様々な視点から支援のあり方を模索することができました。



真剣に学ぶ参加者の皆さん



委員会の皆さんありがとうございました



岩本委員長（仙台青葉LC）

仙台市医師会看護学校における骨髄バンク支援活動



1. 骨髄移植をテーマに作成された映画 「いちばん逢いたいひと」の上映会

上映日：2024年2月22日（木）

視聴者：仙台市医師会看護学校 2年生40名、1年生70名

映画鑑賞による効果：映画鑑賞という手法を用いてアプローチすることで、非常に重いテーマである骨髄移植について、看護学生に興味を持ってもらえるようにしました。



2. 仙台市医師会看護専門学校での講演活動

講演日：2024年2月26日（月）

演者：宮城骨髄バンク理事長 中川國利先生
（東北ブロック血液センター名誉所長）

受講者：仙台市医師会看護学校
2年生40名、1年生70名

講演内容：骨髄バンクおよび献血事業に関して授業を行いました。映画の中で示された骨髄移植の課題について、講演により理解を深めてもらいました。

3. 活動を通じて

将来の職業として看護学を志望した仙台市医師会看護専門学校の学生さんたちは、献血等に関する意識が高く、ライオンズクラブの骨髄バンク支援事業について深く理解してもらえたものと思います。代表的な小児がんである白血病は、治療法として骨髄移植は必須のものです。ライオンズクラブ国際協会の5大重点項目に小児がん克服への奉仕が掲げられており、今後も引き続き活動をしていく予定です。



献血とは、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの命を救うために、健康な人が自分の血液を無償で提供するにーろーボランティアです。

第1R 第1Z第2Z新年合同例会

2024年2月14日(水)/江陽グランドホテル

2024年2月14日、江陽グランドホテルにおいて「第1R、第1Z第2Z新年合同例会」が開催されました。

最初に能登半島地震により亡くなった方々への鎮魂を込めた黙とうがあり、仙台杜LCの庄司洋子Lの司会のもと、会長である川原眞也Lの開会宣言、ゴングで始まりました。

会の中でLCIF1,000 \$ 献金、LCIF・合同アクティビティ献金に対しての表彰もあり、会は粛々と進めら

れ、中川満キャビネット幹事によるライオンズローアと、仙台エコーLC会長の荒井美佐子Lの開会宣言、ゴングで閉められました。

続く祝宴の部では、第一副地区ガバナーの佐藤久一郎Lによる乾杯で始まり、盛大に執り行われました。当日は200名を超える参加者が集まり盛会の中、お開きとなりました。



GLT 委員会主催 公認ガイディングライオン講座

2024年2月15日(木)/仙台市復興記念会館4階 第2会議室

330-C 地区2023-25 国際理事元ガバナーの濱野雅司Lを講師にお招きし、開催しました。

当日はご多忙の中332-C 地区の研修事業のため仙台へお越しいただきました。

研修内容はスクール形式で『現在の世界・日本のライオンズクラブについて』からはじまり『公認ガイディ

ングライオンの役割と必要な知識』を学びました。

研修中はポイントごとに参加者へ回答を求められとても学びやすい内容でした。

最後の質疑応答では様々な疑問に対し、わかりやすくご回答等をいただきました。



東京町田LCに眼鏡支援リサイクルへの感謝状贈呈式

2024年3月3日(日)/レンブラントホテル東京町田

参加者：渡邊ガバナー、中川幹事、木川田眼鏡リサイクル委員長の3名

3月3日(日)、日頃より「眼鏡リサイクル事業」にご協力いただいております、東京町田LCへ訪問して参りました。

これまでも複数回に渡り「眼鏡リサイクル事業」に多大なる支援をいただいた事へのお礼として、「感謝状」をお届けするのが主な目的でしたが、東京町田LCでは、毎年「ひなまつりチャリティコンサート」をこの時期

に開催されており、かねてより会長佐藤吉也より、ご招待をいただいていたことも重なった中での訪問となりました。

当日は会員の皆様に盛大にお迎えいただきながら、渡邊ガバナーより感謝状を贈呈し、眼鏡リサイクル事業の詳細について説明してまいりました。今後の活動について挨拶の際には会場から盛大な拍手をいただきました。



名取・亘理・岩沼・山元LC合同例会

2024年3月2日(土)/和風レストラン田園(山元店)



GST委員会・FWT委員会共催「おゆずり会」開催

2024年2月29日(木)～3月2日(土)/仙台市鹿野児童館

2月29日より3月2日までの3日間、仙台市子育て支援クラブ「バンビ」さんと共催で、「おゆずり会」を開催いたしました。

子育て世代の支援を目的に、各クラブよりご提供いただいた衣類を、来場した皆さんへお渡しいたしました。3日間の総来客は176名という盛況で、特に29日には来客数61名来ていただきました。沢山あった子供服

は7割近くなくなり、特に女性用男性用のスーツ等が人気で、いらしていただいたお母さん方に感激されました。これからの未来を担う子供たちの一助となることが出来たように感じました。配布にご協力、ご参加いただいたライオンの皆様、衣服を提供いただきました皆様、誠にありがとうございました。次回は幸町の児童館にて5月31日・6月1日に行います。



WELCOME FRESH LION フレッシュ ライオン

仙台五城 LC

新入会員

L. 千葉 洋裕

新入会員

L. 遠藤 健

会長

L. 坂本 訓之

スポンサー

L. 田畑 英伍

新入会員

L. 田畑 英雄

新入会員

L. 行場 弘美

入会日 2024年2月14日



右から
新入会員 L. 行場 弘美 L. 千葉 洋裕 L. 田畑 英雄 L. 遠藤 健
スポンサー L. 田畑 英伍

■入会動機、抱負

L. 千葉 洋裕：平成6年まれ29歳の千葉洋裕です。保育園を経営し子ども達の成長を毎日見ております。コロナ禍による大きな社会変動の中、子育て支援の在り方など、これから何をすべきか思いあぐねていたときにライオンズクラブと出会い、(その活動の目的に賛同し) 入会させていただくことになりました。今後、私の思い描く将来像に基づき、この地域社会で真に求められている実効性ある活動を行ってまいり所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。

L. 遠藤 健：「自分自身節目の歳を迎え、新しいチャレンジの一つとして、地域社会への貢献という思いがあり、このライオンズクラブへ入会しました。スポンサーはじめ、諸先輩方からのアドバイスをいただき、微力ながら地域社会、クラブの発展の為に努めてまいります。

L. 田畑 英雄：仙台五城ライオンズクラブとは、父がメンバーであることから、幼少期からご縁がありまして、早朝清掃や七夕アクトにも参加しておりました。この度、仙台五城ライオンズクラブから渡邊俊弥氏が332-C地区のガバナーに就任したこともあり、会員増強にご協力できればと入会を決めました。入会にあたり、クラブの先輩にご指導、ご鞭撻していただき、奉仕活動に力を尽くしたいと考えております。

L. 行場 弘美：田畑ライオンのお声掛けにより、歴史あるライオンズクラブに参加することができて驚く自分がいます。今更ながら微力な自分を感じつつも、社会貢献の意義と活動と理解に努めたいと思います。

ライオンズクエスト ライフスキル教育ワークショップ

●ライオンズクエスト・薬物防止委員会委員 **L.大西孝志** (石巻日和LC)

2024年2月9日(金)、10日(土)に東北福祉大学を会場に11回目のライオンズクエストライフスキル教育のワークショップが開催されました。参加学生は22人です。参加者のこれまでの合計は352名となりました。

1年生の時から参加している4年生の中には5回目というものもあり、講師のアシスタント的な役割を果たすことができました。この春から学校現場に出た際には、ライフスキルのワークショップで学んだ多くのノウハウを子どもたちに還元することができると思います。これまで11回のワークショップ参加者はのべ330名です。

開会に当たり佐藤護委員長、多賀城ライオンズクラブ遠藤明彦会長、同笠松昭治ライオンより、参加者に本ワークショップの意味や期待することとして激励のこ

とばをいただきました。

講師が次々と紹介してくれる元気の出る活動(エネジャイザー)では「せーの、のーせ」といった恒例のものから、「ヘリウムリング」「レゴ」というこれまで11回行われたワークショップでは見たことがない新しい活動がありました。

参加者一同「これ、(学校で子どもたちに)使えるね」と感動していました。

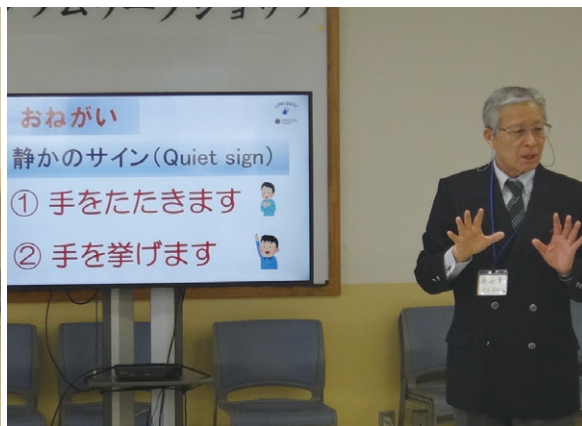
模擬授業では「薬物乱用防止」に繋がる「やってみる活動 よくない友だちからの誘い」がとても参考になりました。短時間で青少年の健全育成に繋げることができる活動であるため、ワークショップほど時間をとれないセミナー等でも簡単に取り組むことができると思います。



佐藤護委員長 挨拶



多賀城ライオンズクラブ遠藤会長



2日間のルール



相手の指はつかむ・自分の指はつかまらないゲーム



子どもたちへのメッセージ(最初の活動)

■参加者の声

- ・一つ一つの活動が印象に残っていて、多くの学びになりました。また、素直に楽しかったというのが感想です。このライオンズクエストにまた参加したいと思ったとともにこれがもっと広まってほしいと思いました。教育関係の職業を目指している人だったらなおさらです。模擬授業やアイスブレイク等の活動を他学年と協力する機会はありません。それを経験できただけでも大きな学びになりました。特に印象に残っている言葉が集団についての話です。最後のまとめで、全ての活動が良い集団にするための活動だったということに気づきました。今回の経験はぜひ今後に活かしたいです。
- ・大学では教科の指導の仕方などを学ぶが、このライオンズクエストでは全ての教科に繋がる指導の仕方や新たな考えを培うことができました。この力を身につけさせるために、授業中や休み時間ではどんなことを行すべきなのか、この授業のコア能力は何なのかなど、これからの自分の将来に生かせることが沢山あり、ライオンズクエストに参加しなければ学ぶことができない考え方や指導方法があり、とても自分のためになる活動でした。ライオンズクエストに参加して良かったです！2日間ありがとうございました！
- ・今回のワークショップで特に印象的であったことは学校で重要視するべきなのはアカデミックスキルだけではないという事です。私はこれまで、学校という場では授業で知識（アカデミックスキル）を与えることが

ほぼすべてであり、その知識をもとにライフスキルも自然と身につくものだ勝手に推測していました。しかし、今回のワークショップで実際に自分がライフスキルの修得法を体験したりすることでその考えをだいぶ変えることができました。

- ・授業の始まる前や、休憩後にレクリエーションをすることでその後の授業への子どもたちの関心の仕方が変わることも実感することが出来ました。2日間という短い間でしたが、先輩方や同学年の人と仲良くなったのはレクリエーションのおかげだと思っています。
- ・今回で3回目の参加となり、どのような運びで講義が展開されていくのかをある程度見通せる立場で学ばせていただきました。去年までは模擬授業をした事がない中での参加で、大学でもなかなか実践する場面がなく、自分の中でもあまり吸収することが出来なかったのですが、今回は実践を見越して、どのような場面でアイスブレイクなどを取り入れていったら良いのかと、去年までとは違う視点で講義に参加することができました。
- ・5度目の参加となりました。1年生の頃から参加していましたが、人に説明する力や集団をまとめるための力が身につけてきたと実感することができました。また、これまで学んできたライフスキルを活かして活動に参加することができてきたのではないかと感じることもできるワークショップとなりました。



渡邊ガバナーも駆けつけて下さいました。左は大西L



寺西先生 2日間ありがとうございました